



レンタサイクル貸出所 (岩瀬駅前)

て海外人材交流事業が位置づけられており、その中には3つの事業が考えられています。そして、着手時期は2016年度と記載されています。現在、関係各所でこの内容の事業化に向けた協議に着手したということです。具体的な内容は、今年度立案中の事業のた

め、答弁できる内容はありません。

レンタサイクル

問 サイクリング環境整備事業の使用料で、建物借り上げ料とあるが、借り上げ期間は、また、自転車の種類り上げ台数と自転車の種類

平成27年度 決算認定 徹底検証！市税の使い道

平成28年第3回定例会

8月30日から9月9日までの会期で開催され、平成27年度決算を中心に、多岐にわたり審議が行われました。

平成27年度決算 に関する 大綱質疑

平成27年度決算案全体に対して、疑問や不明点を明らかにするため、市に説明を求めました。その中から、主なものを掲載します。

人口減少の状況

問 毎年人口減少が進んでいるが、この5年間の市の減少の状況について伺う。
答 桜川市における過去5年間の人口減少については、平成23年度末の人口が4万6466人、平成27年度末では、4万4042人となり、5年間で2424人が減少し、減少率は5.2%となっております。
問 茨城新聞の報道では、6月の人口減はマイナス65人だったが、7月の人口減はゼロである。1年間で、月ごとの人口の減少はどのように変化しているのか。
答 減少を月別に見ます

と、各年でばらつきがありますが、平均では3月が最も減少が多く130人になっていきます。他の月に関しては、いずれの月も50人前後の減少となっております。なお、新聞報道による7月の減少人数ゼロ人については、月平均50人以上いる死亡者数が、この月は27人であったことが要因ではないかと思われまます。
問 市内を回ってみると、空き家がふえている地域がある一方、新築がふえている地域も目につくが、人口の増減が多い地域は。
答 平成23年度からの5年間で人口の増加率が高い地区は、御領2丁目22・

2%、明日香4丁目17.8%、東桜川1丁目16.7%となっております。減少率の高い地区については、東桜川2丁目20.4%、青柳地区で14.3%、御領1丁目14%です。

ふるさと応援寄附金

問 ふるさと応援寄附金1388万円だが、記念品の支出と差し引きすると純利益はどれくらいになるのか。
答 1388万円の寄附金のうち1000万円の寄附金が1件ありました。この方は返礼品を希望されませんでしたので、返礼品の対象

となる寄附金は388万円です。そのうち業者代行手数料、返礼品代、その他の経費を差し引くと120万円になります。

総合戦略策定事業

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に、海外人材交流事業とあるが、着手時期は2016年となっている。その内容について伺う。
答 昨年度策定した桜川市の総合戦略の中に、さらさらがわ生涯活躍のまちプロジェクトの一構成事業とし

固定資産税

問 固定資産税の歳入が、昨年と比較して増加しているが、理由は。
答 固定資産税の歳入が増加した理由としては、太陽

光発電で地目が農地から雑種地になり評価が上がったことと、ソーラーの償却資産の課税ができることが原因だと思われまます。

伝建地区

問 「伝統的建造物群保存地区」には保存地区という名前がついているが、一番の目的は、特定物件になったものを保存することなのか。また、伝統的建造物群保存地区保存審議会は、去年、何回開催したのか。
答 伝建地区の保存という名称ですので、町並みを保存するエリアということで、都市計画法の位置づけになっていきます。審議会の開催は2回です。

平成27年度決算額 (万円未満切り捨て)

一般会計			
歳入	189億7,792万円	歳出	174億7,441万円
特別会計			
国民健康保険	歳入 71億3,120万円	歳出	68億1,734万円
農業集落排水事業	歳入 4億 849万円	歳出	3億7,663万円
公共下水道事業	歳入 7億1,624万円	歳出	6億9,420万円
介護保険	歳入 39億2,706万円	歳出	37億4,999万円
介護サービス事業	歳入 1,493万円	歳出	897万円
後期高齢者医療	歳入 3億4,905万円	歳出	3億4,693万円
水道事業会計			
収益的収入	10億 23万円	収益的支出	9億6,685万円
資本的収入	3,540万円	資本的支出	2億5,726万円